

## 【たたき案】 ワークショップの進め方

### 0. 開催日程（案）

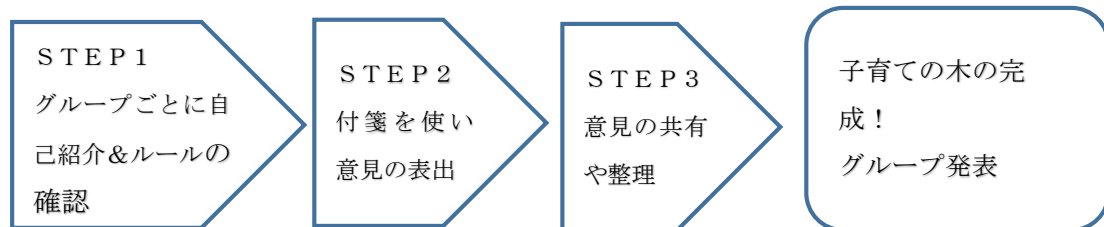
平成 31 年 3 月 30 日（土）・4 月 13 日（土） 4 会場（北・南・中・東）

### 1. ワークショップとは

参加者が意見やアイデアを出し合いながら付箋等を使い、主体的に作業し、出た意見について方向性を打ち出したり、合意を図ったりする場です。

今回は、「みんなのアイデアでもっと流山を子育てしやすい街へ～育てよう！流山子育ての木～」という名称のとおり「流山がもっと子育てにやさしい街になるには？」というテーマについて皆さんに考えていただき、意見を記入した付箋を模造紙に貼り、最終的に子育ての木を作りあげるイメージです。

### 2. ワークショップの流れ



#### ワークショップの進め方（例）

	<p>(1) まずは自己紹介をお願いします。 「～です。よろしくお願いします。」 ※このワークは最後にグループごとの発表を行いますので、発表者を決めてください（発表者の立候補がない場合は、委員の方が発表をお願いします）。</p> <p>(2) 参加者の皆さんに気持ち良く終わっていただくためにルールの確認をお願いします。 「ワークショップのルールですが、次の2つのルールをお願いします。」 ①なるべく公平に発言機会を提供するため、発言は長くても1分くらいでお願い致します。②発言者の話しは最後まできき、意見は批判しないように気を付けてください。</p> <p>(3) 次に作業の確認をお願いします。 「皆さんに作業していただきたいことが2つあります。一つ目は「流山は10点満点で採点すると子育てにやさしい街としては何点か。どうしてそう思うのか。」ということと2つ目は、「どうしたらもっ</p>
--	--

	<p>と子育てにやさしい街になるか」ということを考えていただきたく ます。」</p> <p>「では、まず一つ目のテーマから考えたいと思います。採点すると、 流山は何点くらいですか？」(付箋に名前と点数を書いてもらう。理 由について聞き出す形で会話を続ける。)</p> <p>「では、今出た意見を現状は黄色の付箋、課題は水色の付箋を使っ て記入してください。」</p> <p>(現状について書かれた黄色の付箋は木の幹に、課題について書か れた水色の付箋は土の部分にそれぞれ模造紙に貼っていく)</p> <p>「次にどうしたら流山がもっと子育てにやさしい街になるかを考え たいと思います。こんなサービスあったらいい！などどんな意見で もいいので今度は緑色の付箋を使って記入してください。」</p> <p>付箋を模造紙に貼っていき、最後に付箋を貼り終わった模造紙を見 てグループで出た意見を再確認する。</p> <p>※終わったグループから前のホワイトボードに掲示してください。</p>
--	--

## 作業イメージ

### 投げかけ1

子育てにやさしい街としては何点ですか？

(例1)「6点」 (付箋に名前と点数を記入)

「(理由) 送迎保育ステーションがある。」

→流山の現状 (プラス要因)

(例2)「4点」

「(理由) 保育所が足りない。」

→流山の課題 (マイナス要因)

### 投げかけ2

もっと子育てしやすい街になるには？

(例3)

「横浜の保育コンシェルジュのようなサ  
ービスがあったらいい。」

